

TCC 琴浦町担当者様

発信元	琴浦町
担当課	商工観光課
担当者	井中修司
連絡先	0858-52-1713
令和3年6月22日(火)	

**「 令和3年度琴浦町観光戦略推進会議  
(第1回ワーキンググループ会議)の開催について 」**

**●一向平キャンプ場でコロナ後の町の観光振興を考える●**

主催 琴浦町(担当課:商工観光課)

日時 令和3年7月1日(木) 14時00分~16時00分

場所 一向平キャンプ場

**事業紹介**

**●背景**

- ・令和元年度に琴浦町では「琴浦町第2次観光ビジョン」を策定しました。
- ・本ビジョンに沿った事業推進を開始して、令和3年度が2年目となります。
- ・今年度の主な事業としては  
「物産館ことうらのリニューアルと指定管理者制度導入」「道の駅琴の浦の情報発信強化」  
「一向平キャンプ場の利用者増加」「旅プロジェクトの展開」等です。

**●本会の目的**

- ・新型コロナウイルスの影響により様々な制約がある中、コロナ後の観光推進を模索します。
- ・民間の方等、各団体の実務者によるワーキンググループ会議を開催し、今後の琴浦町の観光振興に対し、参加者様から意見をいただきます。

**●意見交換事項**

- ・道の駅琴の浦のリニューアルに伴う活性化策について
- ・体験型観光商品の造成について
- ・サイクルツーリズムへの取組みについて 他

**●取材趣旨**

- ・稼ぐ観光を目的に町が観光振興を図るための政策形成過程を町民の方、事業者様に知っていただき、いっしょに観光推進を図れたらと考えています。

別紙 01 案内通知 02 参加者名簿 03 ビジョン

発 商 第 5 6 号

令 和 3 年 6 月 8 日

各 位

琴浦町長 小松 弘明

( 公印省略 )

令和3年度琴浦町観光戦略推進会議(第1回ワーキンググループ会議)の開催について(依頼)

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、琴浦町第2次観光ビジョンに沿った事業推進を開始して、2年目となりました。

新型コロナウイルスの影響により、様々な制約がある中、コロナ後の観光推進を模索しているところです。

このような状況を考慮し、各団体の実務者によるワーキンググループ会議を開催し、琴浦町の観光振興に対し、皆さまのご意見をいただきたいと考えています。

つきましては、下記のとおり開催させていただきますので、**6月23日(水)までに**別紙にて出欠の報告をお願いします。

#### 記

- 1 開催日時 令和3年7月1日(木) 14時～16時
- 2 場 所 一向平キャンプ場  
※位置図等裏面参照(雨天時は一向平キャンプ場森林体験センター)  
※遠方ですがキャンプ場の視察の意味合いも含め、ご理解願います。  
※コロナ感染症対策を万全にして開催します。
- 3 意見交換 (1)観光客動態調査分析(AIbeacon)の活用方法について  
(2)道の駅琴の浦のリニューアルに伴う活性化策について  
(3)体験型観光商品の造成について  
(4)サイクルツーリズムへの取組みについて

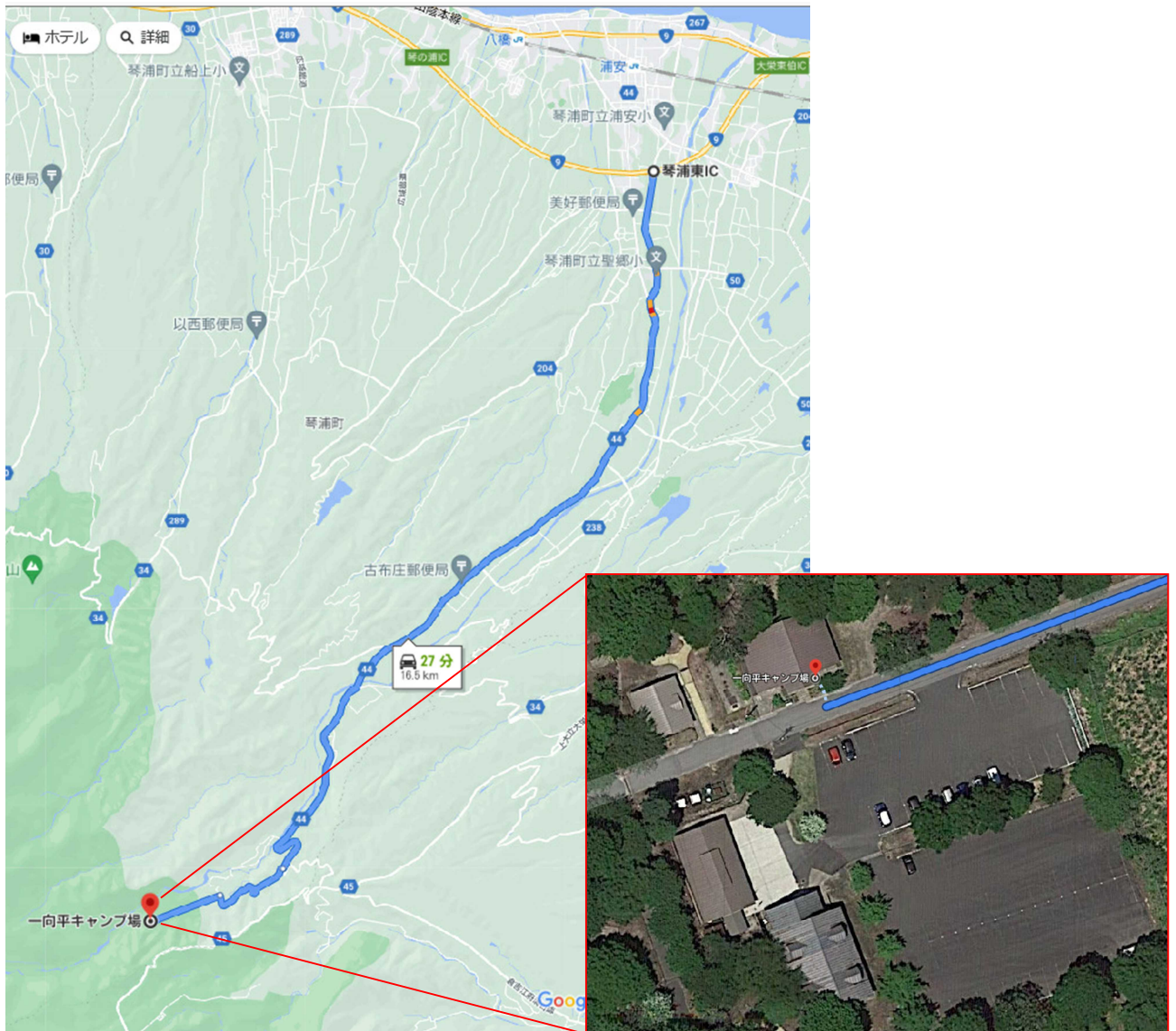
#### 【担 当】

琴浦町役場商工観光課 井中

電 話 52-1713(直) ファクシミリ 52-1714

メール inaka@town.kotoura.tottori.jp

## ●位置図



## ●当日イメージ 一向平キャンプ場



## ▼雨天時 一向平キャンプ場森林体験センター



琴浦町観光戦略推進会議（第1回ワーキンググループ会議）

NO	団体等	職名	氏名	出欠
1	琴浦町商工会	事務長	前畑 裕志	
2	琴浦町観光協会	事務局員	柳澤 裕美	
3	(株)ことうら	支配人	山根 俊樹	
4	鳥取中央農業協同組合		未定	
5	赤碕町漁業協同組合	総務課長	中西 剛	
6	大山乳業農業協同組合	販売部 営業課長	永島 正男	
7	(株)中部旅行社	代表取締役	竹歳 俊介	欠
8	鳴り石の浜プロジェクト	サブリーダー	上田 啓悟	欠
9	鳥取県観光推進局観光戦略課	係長	青砥 聡	
10	(公社)鳥取県観光連盟	主任	竹内 徳美	
11	(一社)鳥取中部観光推進機構	事務局長	蔵求 康宏	
12	(一社)山陰インバウンド機構	事務局次長	森本 誠人	
13	大山山麓・日野川流域観光推進協議会	担当課長補佐	桑本 大輔	
14	(株)JTB 鳥取支店	観光開発プロデューサー	河野 昭百	
15	琴浦町	副町長	山口 秀樹	
16	(株)一向平キャンプ場	代表取締役	都築 法明	
17	鳥取県中部森林組合		調整中	
18	鳥取県西部総合事務所県民福祉局	課長補佐	池原 真	見学

事務局

NO	団体等	職名	氏名	出欠
1	商工観光課	課長	米村 学	
2	商工観光課	課長補佐	井中 修司	
3	商工観光課	主事	吉田 祐介	
4	商工観光課	主事	田中 登志雄	
5	商工観光課	観光活性化コーディネーター	高松 彰	

## 基本方針

## 稼ぐ観光で町産業全体の底上げを図る!!

### 観光に関する3つの課題

#### 【道の駅活用】

- 観光入込動態調査によると、H26年の71万4千人をピークとして、観光入込客は減少傾向（H30年67万6千人）。また、2つの道の駅が同調査全体数の86%を占めていることから、町内観光地への誘導へ向けた取組みが必要。

#### 【ブランド力】

- 山陰道の開通を機に、食のブランド化に取り組んできたが、新たな観光資源の掘り起こしやマンネリにより情報発信力やブランド力が低下。町の再ブランド化による情報発信やインバウンドへの取組みが必要。

#### 【経済効果】

- 観光バスを増やすという成果は出ているものの、旅行客に滞在時間を延ばしていただくことや、お金を落としていただく仕組みを構築できていない。観光消費の拡大や町の自然等を活用した滞在時間を伸ばす取組みが必要。

### “稼ぐ観光” へ向けた3つの重点プロジェクトと8の主要施策

#### 道の駅を“核”として町内周遊を促進

##### (1) 道の駅の機能強化

- ・2つの道の駅の役割分担、連携強化
- ・道の駅「琴の浦」のリニューアル
- ・マネジメント見直し（指定管理者制度）
- ・観光案内所の機能強化
- ・インバウンドの拠点化

##### (2) 町内周遊へ向けた取組み

- ・AI Beaconシステムによる人流分析
- ・周遊ルートの創出、案内看板の整備
- ・道の駅周辺の魅力ある景観づくり

#### まちのリブランディングにより情報発信を強化

##### (3) 琴浦ブランドの創出

- ・ロゴマーク等発信ツールの充実
- ・観光パンフレット、動画、HPの制作

##### (4) 広域観光・広域連携の推進

- ・大山山麓・日野川流域観光推進協議会
- ・鳥取中部観光推進機構
- ・広域観光周遊ルートの創出

##### (5) インバウンド対策

- ・観光案内所のインバウンド対応の強化
- ・各種観光施設、宿泊施設の多言語化整備
- ・公衆W i f i の整備

#### 農畜水産物や地域資源を活用した観光商品を開発

##### (6) 食を活かした観光振興

- ・旬の食材を使用したメニュー開発
- ・各種イベント（グルメdeめぐるウォーク、白鳳祭、船上山さくら祭り）

##### (7) 自然・歴史を活かした観光振興

- ・大山隠岐国立公園の活用（一向平キャンプ場のリニューアル）

##### (8) 体験型観光・土産物の観光商品

- ・既存商品のブラッシュアップ
- ・土産品（グッズ等）の試作品開発